

ヒヤリ・ハット体験

タイトル	落雷に1時間以上追いかける		
(概 要) ある夏、大井川流域で夏季キャンプを行い、プログラムの一環として無双連山(むそれやま)登山を計画した。 参加者 隊長、団委員 (山に詳しい人)、BS10名 大井川線青部駅から、林道を登り、林道の終点から無双連山への登山道にはいり、12時30分頃、尾根道に出たので、昼食のためスカウトたちに「昼食」の指示をだした。 隊長は、周辺の景色を見ていたところ、雷光が目の前で水平に走ったのを見た。 それから、すぐ、登山道を駆け下り、1時間くらいで青部駅近くの八幡様の本殿に逃げ込んだ。 その間、3分間隔くらいで、ピカピカ、ドシヤンの落雷と雨に追いかけられた			
(処 置) 1. スカウト達は、約1時間以上山道を走り、駆け下った。ケガ人はなし 2. 隊長は、キャンプに出発する前に「アウトドア読本」を読んだ。 たまたま、読んだページに「高い山で、雷光が水平に走ったときは危険である。逃げろ」と書いてあった。 3. 同行の団委員も山好きの経験者であったので、隊長が水平に走った雷光を見て、山を降りると決断したのに、即、同意してくれた。			
所属	島田第6団	氏名	山本 修